援助や配慮の必要

2018年1月15日発行

慶應義塾大学 先端生命科学研究所 からだ館

山形県鶴岡市馬場町14-1 鶴岡タウンキャンパス 致道ライブラリー内 TEL 0235-29-0806 FAX 0235-29-0807

http://karadakan.jp でお読みいただけます。

RDD2018 in 鶴岡 開催します!

疾患ごとの患者数は少ないのですが、種類は希少がんも 含め世界規模で約7000、疾患全体で17人に1人程度

存在するといわれているのが

「希少·難治性疾患「RearDisease」。

患者さんの生活の質の向上を願い、

性をお知らせする

交流会や県の患者会の情報などを展示します。多くの方に

RDを知ってもらいたいと思います。お茶のみがてらお気軽に おいでください

日時:2018年2月25日(日)午後1時~3時 会場:鶴岡メタボロームキャンパス共用棟会議

内容:「出会いと語り」のカフェ

希少難病(RD)についてのパネル展示

アトアクション「玉手箱をつくろう」

致道ライブラリー内からだ館 疾病や予防など書籍を 約1400冊所蔵

13.6 抗がん剤 治療中の 生活ケア BOOK 入院治療・通院治療を -トする初めての本

化学療法をうけるあなた、つらい 思いを一人で抱え込んでいません か?化学療法の副作用やセルフ ケアの方法、また「治療後の吐き 気はどうするの?」等体験談も紹 介しています。あなたをサポートで きる心強い一冊です。

監修 中川靖章

発行者 株式会社有楽出版社

館内のソファーで ゆっくり読んでいた だけます。 ぜひいらしてください。 $(#^.^#)$



致道ライブラリー開館中、書籍の貸し借りできます。 ※からだ館スタッフ対応時間

月~金曜 午前9時~午後5時

(諸用のため、スタッフ不在の場合があります。)

健康大学 「知って得する情報 ~お薬と薬局のお話~」

な薬局の活用のし 調理編では 実は健康情報の拠点とし の薬局。処方薬を買いに行くだけではない 報を健康大学でとりあげます 献 立を準 かたもお聞き下さい

参加申込は、 \$ 29-0006 からだ館までお電話ください。 やはり健康 平日の9時から17時 の基本は食。栄養たつぶ

参加ください

調理

会場

薬手帳の役割についてなど、知っていると得をする

ての役割を持つて

講師

III

豊美氏

(株式会社とよみ

日時

2月22日(木

10

などの声が寄せられます。今回そん

薬の飲み合わせについ

を聞

康大学参加

者

から時

折

「薬のこと勉強

薬剤師さんを講師に迎

、薬の基本的な話やお

な声にお応え

定員 参加 16 名 講

会場 鶴 田 参加

講師 日時 講義 2月16

栗原智広氏(日本調剤若葉薬 鶴岡タウンキャンパス (金)13時30分~



開催報告

2017.11.19 いろり火の里 なの花ホール

~からだ館10周年記念~

自分、仲間、地域をまるごと元気に!

鶴岡発のコミュニティヘルスをつくろう

からだ館開設10周年を記念 してカフェスタイルの勉強会を 開催。これからも地域の皆さんと つながり楽しく活動をしていきます。







第3部 「このまちで最期まで イキイキと暮らす為あったらい いもの」などテーマを決めて話 合い、大いに盛り上がりました。

第2部 各地で先進的な取り組みをされているステキな講師の方々。じっくり活動をお聞きしました。

第1部 からだ館の10年の 活動から見えてきたこと。 大切な仲間との出会いが 活動を支えてくれました。



にこにこ倶楽部



日時: 毎月第一金曜日

午前10時~午前11時30分

会場: 鶴岡市タウンキャン

パス3階セミナー室

対象: がん患者さんや

そのご家族

参加費: 300円

お茶を飲みながらいろいろな話題でおしゃべりしています。話すのが苦手な方も、他の方の話を聞いているだけでも元気がもらえるかもしれません。ちょっとだけ踏み出してみませんか?お待ちしています。

参加者の感想 たくさん泣いてしまいましたが参加して大きな回復力になると思いました。経験者の話から元気が出ました。



10年記念冊子を制作しました。活動を通じて出会った大切な仲間を「花咲かせびと」として紹介しています。 致道ライブラリーで貸し出中です。 どうぞご覧ください。

ぐうたらな私でも「花咲かせびと」 の生き方に触れ学んだことをちょっ とでも自分の人生にいかしたいな。 「花咲かせびと」は頑張るあなたの 毎日を応援してくれマス。

リルー闘病記 ~ 花咲かせびと~

からだ館通信では、病を抱えながらも今この時を生きる人たちの闘病記を掲載しています。 今回より新しいシリーズが始まるのに合わせ、タイトルも新たに「リレー闘病記~花咲かせびと~」としました。

《70代Mさんの場合 パート1》

私の病の始まりは40代からです。まず42歳のとき 胃潰瘍になりました。そのころ胃もたれが続き自己 判断でずっと市販薬を服用していたんです。

ところがある日の夕方、スーパーで買い物の途中 立ちくらみがして吐血したのです。そのため救急車 で近くの病院に搬送されました。

入院しその後点滴治療をしながら1年間治療に費やしました。でも改善せず組織検査の結果悪性に移行する可能性の個所がみつかり胃の切除手術を受けることになりました。

私にとっては初めて体にメスを入れることになるのです。ためらいは大いにありましたが不安は逆にありませんでした。悪いところは手術をすれば治るという思い込みがあったのです。でも後にそれは甘かったことに気づくことになるのです。

次号につづく